



### ■超勤縮減問題■ 管理職の意識とノ一部活デーに頼るだけの県教委

賃金確定交渉で高教組は、超勤縮減問題を取りあげ、今年4〜7月の出勤時刻調査の集計で、超勤が100時間を超えた人の割合が昨年の同時期よりも増えていることを重視して指摘。

### ■数学コンクール等代替措置問題■ お願いしたら振り替えるのが筋ではない

この間、高教組が各学校でとりくんだ「超勤縮減のためのアンケート」に寄せられた声から、「休憩時間にも仕事をしたり、持ち帰れるものは持ち帰るなどしている。ずっと働かざるを得ない。心身ともに休まる状況がつかれない」「出勤時刻調査は、超勤しているにもかかわらず、調整し超勤時間が0になるように書き込んでいのが現状。業務についても週1回の休みが

高教組は、人事委も「週休日の振替制度の見直し」に言及していること、学コンクール等の県教委のとりくみで、土日に教職員に業務を要請することを求めることを求めました。

### ＜県教委提案の主な内容＞

1. 40歳以上の月例給の引き下げ(200~500円)  
※現給保障については0.17%引き下げ
2. ボーナスの年間支給月数引き下げ(0.2月分減)
3. 管理職層の56歳以上で月例給1.5%減
4. 自宅の住居手当の削減 2500円→1800円
5. 12月の期末手当での減額調整(40歳以上) 給与の0.34%の10ヶ月分
6. 教員特別手当削減 月額900円~3300円の削減
7. 特別支援学校の教育職の調整額の削減 調整数を1.5から1.25へ
8. 主幹教諭・指導教諭に特2級の給料表を適用

「土日の業務について、校長会善で、校長会

「高教組は、必要と言っていることと同じ趣旨で、部活以外のことができない上、指導すべきと要求。これに對して教育長は「確かに働きすぎというのがあるが、上限を設けましょう」というのは、校長会とも相談しないといけないと思う。簡単にいくかどうかは難しい」と答えました。

### 県人勤特徴(下)

別手当の算定率を2・2%から1・5%

県人事委員会は、教員特別手当と特別支援学校教員の給与の調整額について、「国や他の都道府県の動向に留意しながら、適切な対応を検討する必要があります」と述べています。この件については、今年度の政府予算で文科省が、来年1月から教員特別手当と調整額の削減を盛り込んでいます。この削減は、6年に自公政権が、教員ありま

### 超勤縮減は待ったなしの課題 100時間超は全日(普)で23%

報告では、賃金面以外についても言及しています。勤務環境の整備等にか

「仕事と家庭生活の両な言動例や注意すべき事立支援」では、次世代育項について、研修等の機成支援対策推進法に基づき、特定事業主行動計画に沿って年次休暇や特別休暇の取得促進を強調して健康づくり」では、ハラについて、「具体的

### 年休・特休の取得促進強調 ハラ発生防止も報告

### 高校懇談会秋の学習交流集會に参加して

-田向弘文さん(佐中夜分会)からの参加報告-

日高教や名 古屋市立高教組 横濱市立高教組 福井高教組 など構成する 全国高校組織懇談会の秋の学習交流集會が、10月23・24日に愛知県で開催され、長崎高教組からは、田向弘文さんと馬場書記長が参加しました。以下は田向さんから参加報告です。

組合員全員のかで三〇人との対話をやりとげよう!